

庭園の見どころ

❖国指定天然記念物 遊龍の松

❖季節の見ごろ

4月上旬より下旬	桜(しだれ桜・山桜)
4月中旬より5月上旬	新緑
5月上旬	平戸つつじ・ぼたん
5月中旬より下旬	しゃくやく
6月上旬	さつき
6月中旬より7月上旬	あじさい
8月	百日紅
9月中旬より10月下旬	秋明菊(しゅうめいぎく)
11月中旬より12月上旬	紅葉
12月より1月	南天・さざんか・椿
3月上旬	梅

境内からの眺望は京都随一で、開山堂・釈迦堂・薬師堂からは京都市内を望むことができる。



薬師堂よりの眺望



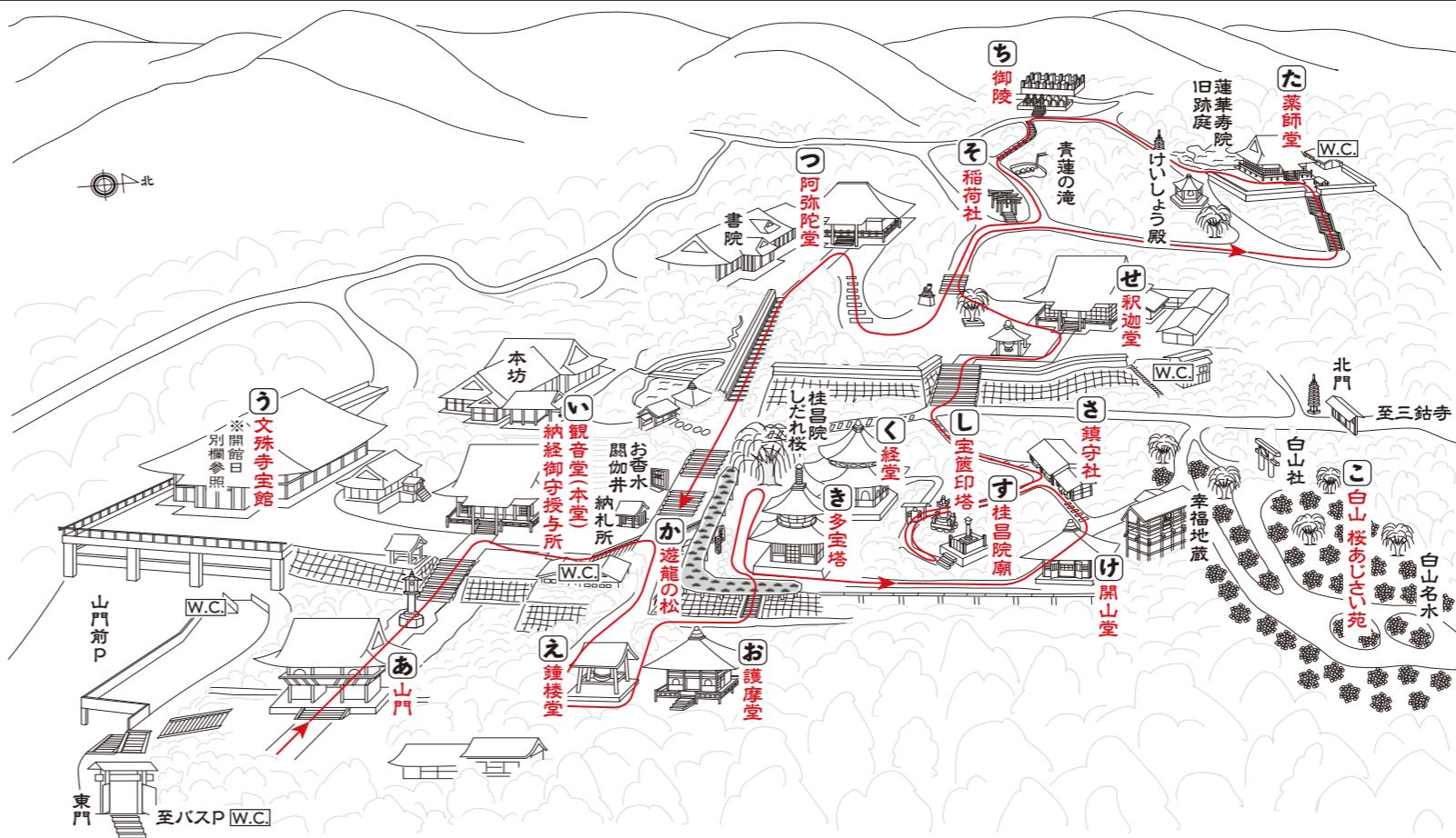
釈迦堂



観音堂(本堂) 納経御授与所



山門



多宝塔



天然記念物 遊龍の松



白山 桜あじさい苑

諸堂案内(境内一周約四〇分)

あ 山門(楼門) 正徳六年(一七二六)建立
入山受付

楼上の本尊文殊菩薩と脇侍二天は、現在文殊寺宝館に奉安。楼下には金剛力士を祀る。

い 観音堂(本堂) 西国二十番札所
納経(朱印)・御授与所

元禄五年(一六九二)建立。本尊千手観音は仁弘法師御作で、西国二十番の本尊。脇本尊千手観音は源算上人御作で、洛西観音霊場一番の本尊。

●お香水關伽井

仏前に供する水を汲む清浄な井戸。このお香水を服すと長寿のご利益があると伝わる。

●納札所 元禄四年(一六九二)建立

う 文殊寺宝館 平成一一年建立

本尊は山門の文殊菩薩と二天が修復遷座。約三〇〇点の仏像・絵画・書跡・染織・陶器など貴重な文化財が収蔵されている。
※開館日は行事欄参照

え 鐘楼堂(つりがね堂) 貞享三年(一六八六)建立

徳川五代將軍綱吉公の厄年にあたり桂昌院寄進。厄除けの鐘と云われる。

お 護摩堂 元禄五年(一六九二)建立

本尊五大明王(不動・降三世・軍荼利・大威徳・金剛夜叉の五尊)。

か 遊龍の松 樹齢六〇〇年以上

国指定天然記念物。五葉松。安政四年(一八五七)、花山前右大臣家厚公により、遊龍と命名。標石は明治二六年、鳥尾中将の書。現在全長三七メートル。
●日本一の松と人口に膾炙される。

き 多宝塔 元和七年(一六二二)建立

国指定重要文化財。本尊愛染明王。

く 経堂 宝永二年(一七〇五)建立

傳大士(ふだいし)。中国南北朝時代の僧。西暦六世紀を奉安。鉄眼版一切経を納める。現在は祈願成就の絵馬奉納所。

け 開山堂 貞享二年(一六八五)建立

開山源算上人廟所。上人一七歳の尊像を祀る。

こ 白山桜あじさい苑

春はしだれ桜、夏は紫陽花が一带を彩る。

●白山社

白山権現を祀る。
「自分以外の幸せを願いましょう」

●白山名水

源算上人が写経に用いた名水。

さ 鎮守社 全て元禄五年(一六九二)建立

十三仏堂・弁財天堂・毘沙門堂・護法堂の四社。当山守護のため祀る。

し 宝篋印塔

鎌倉時代、慈鎮和尚により伝教大師筆の法華経が納められた宝塔。

す 桂昌院 宝永二年(一七〇五)建立

当山復興大檀那である桂昌院の遺髪を納めた廟所。

せ 釈迦堂 明治一八年(一八八五)建立

本尊釈迦如来は源算上人御作と伝わる。明治時代の篤き信仰により、釈迦岳(釈迦堂の南嶺)より遷座。その時に奇瑞があり、腰痛神経痛に靈験あらたかなお釈迦さまとして信仰されている。

そ 稲荷社

正一位稲荷大明神を祀る。

た 薬師堂 元禄一四年(一七〇一)建立

本尊薬師如来。昭和六三年、現在の地に移築。桂昌院出生の由緒により出世薬師如来と云われる。

●蓮華寿院旧跡

慈鎮和尚、証空上人、西山宮道覚入道親王をはじめ、多くの親王祖師先徳の御住坊旧跡。薬師堂移築時に作庭。

ち 御陵

青蓮院親王御陵(宮内庁管轄)と功績ある祖師の御墓。

つ 阿弥陀堂 寛文一三年(一六七三)建立

本尊宝冠阿弥陀如来。常行三昧(阿弥陀仏を讀んで極楽往生を願う修行)道場にて常行堂ともいう。